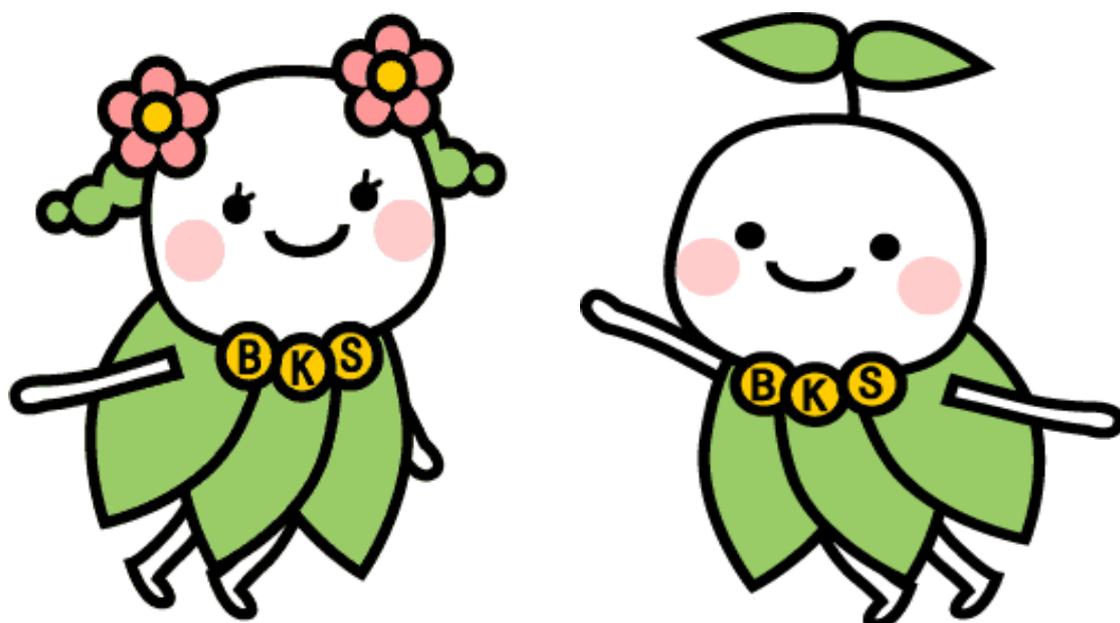


# 環境経営レポート

2023年度（2023年4月～2024年3月）



2024年7月30日



ビジネス環境整備株式会社

## 【1】組織の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

事業所名 : ビジネス環境整備株式会社

代表者名 : 新家 雅史

### (2) 認証・登録の範囲

#### ● 対象事業所

① 本社・リサイクル第一工場 〒 288-0821 千葉県銚子市小浜町2559番地の23  
TEL : 0479-20-8071 FAX : 0479-20-8072

② リサイクル第二工場 〒 288-0814 千葉県銚子市春日町2644番地の7  
TEL : 0479-20-1995 FAX : 0479-23-7175

③ 神栖支店 〒 314-0408 茨城県神栖市波崎8760  
TEL : 0479-44-0551

#### ● 事業活動

浄化槽保守点検業、浄化槽清掃業、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業  
資源物リサイクル業

### (3) 環境管理責任者

環境管理責任者 野中 恵子

担当者連絡先 〒 288-0821 千葉県銚子市小浜町2559番地の23  
TEL : 0479-20-8071

### (4) 事業の概要

● 法人設立年月日 平成7年2月22日

● 資本金 1,000万円

● 売上高、従業員数、敷地面積

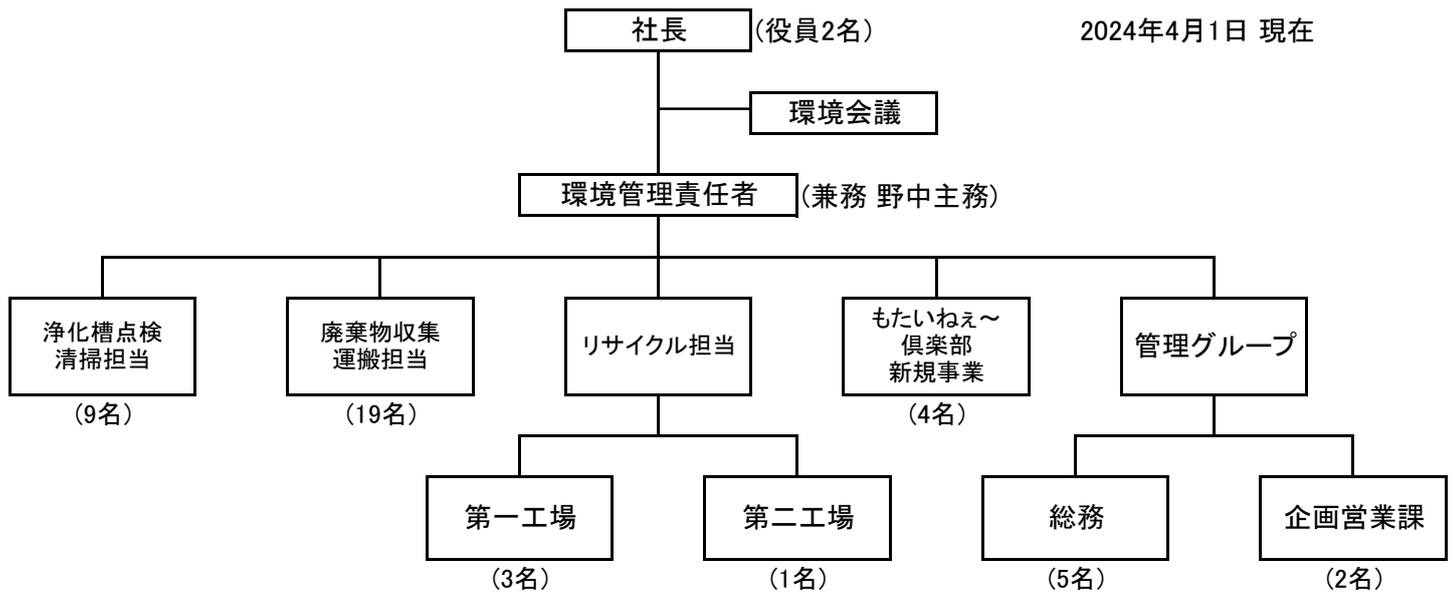
● 会計年度 4月～3月

項目	単位	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
売上高	百万円	371	399	395	430	454	450	434	473	501	521	547
従業員数	人	46	45	46	47	45	44	43	43	43	45	45
総敷地面積	m <sup>2</sup>	4,975	4,975	4,975	5,026	5,026	5,026	5,026	5,026	5,026	5,026	5,026
本社・第一工場	m <sup>2</sup>	4,715	4,175	4,175	4,715	4,715	4,715	4,715	4,715	4,715	4,715	4,715
第二工場	m <sup>2</sup>	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260
神栖支店	m <sup>2</sup>	-	-	-	51	51	51	51	51	51	51	51
総床面積	m <sup>2</sup>	1,595	1,598	1,599	1,649	1,649	1,649	1,649	1,649	1,649	1,649	1,649
本社・第一工場	m <sup>2</sup>	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436	1,436
第二工場	m <sup>2</sup>	162	162	162	162	162	162	162	162	162	162	162
神栖支店	m <sup>2</sup>	-	-	-	51	51	51	51	51	51	51	51

● 事業内容

事業活動の内容	① 浄化槽清掃業（銚子市、旭市、匝瑳市、神栖市）
	② 浄化槽保守点検業者（千葉県、茨城県）
	③ 産業廃棄物収集運搬業（千葉県、東京都、埼玉県、茨城県）
	④ 一般廃棄物収集運搬業（ごみ・粗大ごみ・浄化槽汚泥）
	⑤ 産業廃棄物中間処理業（発泡スチロールの減容）
	⑥ 段ボール/新聞/雑誌等古紙リサイクル
産廃処理費用	個別見積による。(連絡先は本社)

(5) 組織図及び役割・責任・権限



職名	役割・責任・権限
代表者(社長)	① 環境経営方針を策定する。 ② EA21の実行に必要な資源を用意する。 ③ 環境管理責任者を任命する。 ④ EA21の取組状況进行评估し適正な見直し指示を与える。 ⑤ 課題とチャンスの決定
環境管理責任者	① 環境経営システムの要求事項を確立し実施維持する。 ② 環境経営システムの構築、運用状況を社長へ報告する。 ③ 中途入社社員にも環境経営システムの説明をする。
環境会議	① メンバーは、社長へ環境管理責任者及び各部門長として、必要に応じて社長が指名した者とする。 ② 環境マネジメントに関する事を検討の場とする。 ③ 社長を議長とし随時開催する。
部門長	① 環境経営目標、活動経営計画の実施。 ② 環境に関する意識を持った行動で業務の実施。 ③ 問題があった場合、環境管理責任者へ報告。

(6) 事業活動の内容

1、許可の内容

① 浄化槽保守点検許可

自治体	千葉県	茨城県
登録番号	千葉県知事(登録8) 海地振第11号	茨2第593号
登録年月日	令和4年5月26日	令和2年10月2日
有効期限	令和9年5月29日	令和7年10月1日

② 浄化槽清掃業の許可

自治体	銚子市
許可番号	第B96040101号
許可期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日

③ 一般廃棄物収集運搬等許可

自治体	銚子市
許可番号	第A96040101号
取扱廃棄物の種類	ごみ、粗大ごみ、浄化槽汚泥
許可期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日

④ 一般廃棄物処理業許可

自治体	旭市	神栖市	鹿嶋市
許可番号	旭市第5号	指令第89号	鹿廃指令第53号
取扱廃棄物の種類	一般廃棄物	一般廃棄物、ごみ、 (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)	ごみ (可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)
営業区域	旭市	神栖市	鹿嶋市
許可期間	自 令和4年9月1日 至 令和6年8月31日	自 令和6年4月1日 至 令和8年3月31日	自 令和6年4月1日 至 令和8年3月31日

⑤ 産業廃棄物収集運搬業許可

自治体	千葉県	東京都	茨城県	埼玉県
許可番号	第1200042727号	第13-00-047272号	第00801047272号	第01107047272号
許可年月日	令和4年4月18日	令和元年7月23日	令和2年7月10日	令和5年12月5日
許可の有効年月日	令和9年4月17日	令和6年7月22日	令和7年4月21日	令和10年11月13日
事業区分	積替・保管を除く	積替え保管を除く	積替・保管無	積替え保管を除く
廃棄物の種類				
汚泥	○	○	○ ※4※6	○
廃油	○	○	○ ※4	○
廃酸	○		○ ※4※6	
廃アルカリ	○		○ ※4※6	
廃プラスチック類	○ ※1		○ ※2※3※5	
紙くず	○		○	
木くず	○		○	
繊維くず	○		○	
動植物性残さ	○		○	
ゴムくず	○		○	
金属くず	○ ※1		○ ※2※5	
ガラスくず・コンクリートくず・及び陶磁器くず	○ ※1		○ ※2※3※5	
がれき類	○		○ ※3	

※1 水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く ※2 自動車等破砕物を除く

※3 石綿含有産業廃棄物を除く ※4 水銀使用製品産業廃棄物を除く ※5 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※6 水銀含有ばいじん等を除く 千葉県:これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く

⑥ 産業廃棄物処分業許可

自治体	千葉県	
許可番号	第01220047272号	
許可年月日	令和4年2月6日	
許可の有効年月日	令和8年11月28日	
事業区分	減容固化による中間処理	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 (発泡スチロールに限り、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)	

⑦ 事業に供するすべての施設

施設の種類 (許可年月日及び許可番号)	処理能力 (設置年月日)	数量	設置場所
減容固化施設	廃プラスチック類 0.80t/日 (0.10t/時×8時間) (平成29年1月26日)	1	千葉県銚子市小 浜町2559番23
処理前廃棄物保管施設	17m <sup>2</sup> 40m <sup>3</sup>	1	
	15m <sup>2</sup> 34m <sup>3</sup>	1	
	49m <sup>2</sup> 114m <sup>3</sup>	1	
処理後廃棄物保管施設	13m <sup>2</sup> 13m <sup>3</sup>	1	

2、事業計画

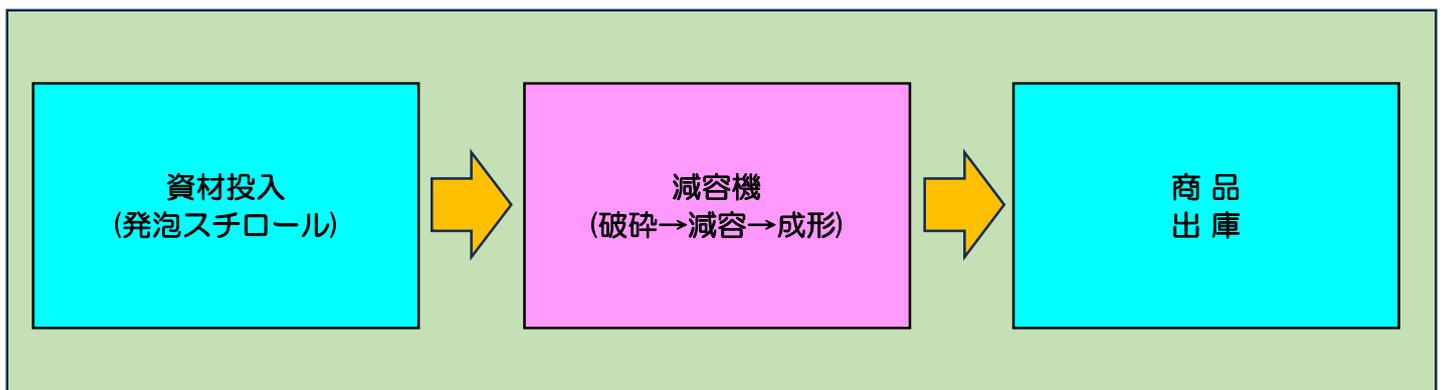
許可を受けた産業廃棄物の収集運搬について、事業者から運搬・処分の委託を受けた場合は、廃棄物お処理及び清掃に関する法律に基づく契約を締結し、排出事業者からマニフェストの交付を受け、中間処理施設に運搬し適正に処分いたします。

3、施設等の概要

① 廃プラスチック減容機

- 廃棄物の種類 発泡スチロールに限り、特別管理産業廃棄物であるものを除く。
- 処理能力 0.8t/日 (0.1t/時×8時間)

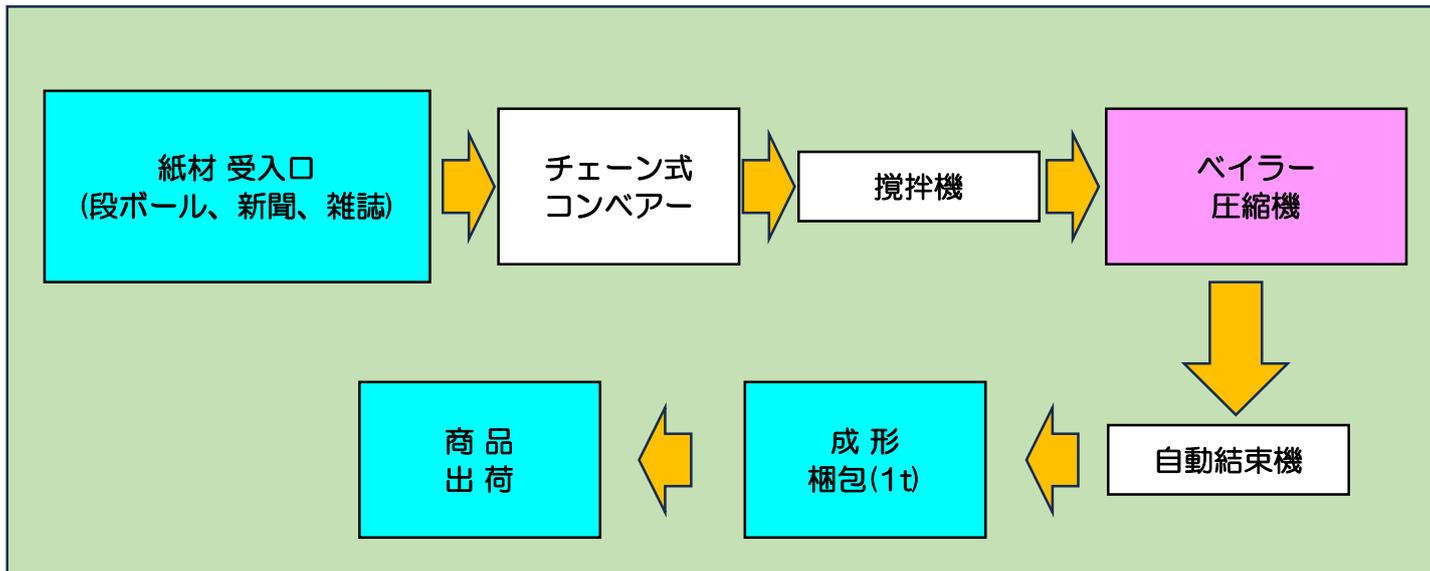
処理工程図



② 段ボール圧縮機

- 廃棄物の種類      段ボール
- 処理能力            16t/日

処理工程図



発泡スチロール減容機



段ボール類結束装置

③ 運搬車両

パッカー車	台数	トラック	台数	アームロール車	台数	バキューム車	台数
2トンパッカー車	3	1トントラック	1	3トンアームロール車	1	3トンバキューム車	2
3トンパッカー車	10	1.5トントラック	5	4トンアームロール車	2	4トンバキューム車	1
4トンパッカー車	1	2トントラック	1				

その他	台数
2トン平ボディ車	1
3トンウイング車	1
3トンダンパー者	1
軽ダンプ	1

ハイブリッド型パッカー車



ハイブリッド型トラック



④ その他重機等

重機等	台数
2.5トンフォークリフト	1
3トンフォークリフト	1
3トンクランプ	1

#### 4、処理実績

##### ① 収集運搬量

種類		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
一般廃棄物	可燃物	t	2,348	2,276	2,375	2,195	2,288	2,259	2,220
	不燃物	t	30	50	41	17	12	12	46
	浄化槽汚泥	m <sup>3</sup>	5,602	5,195	5,601	5,672	5,754	6,672	5,785
産業廃棄物	汚泥	t	768	798	1,106	1,089	1,085	1,083	1,187
	廃プラスチック類	t	1,708	1,722	1,484	1,212	1,161	939	1,156
	木くず	t	13	22	41	10	11	16	17
	金属くず	t	8	2	8	3	1	1	2
	動植物性残さ	t	29	38	23	5	0	0	109

##### ② 産業廃棄物処分量

種類	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
発泡スチロール	t	39	46	46	66	74	25	26

#### 5、環境への負荷状況

		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
エネルギー投入量	電力	kWh	84,594	82,130	75,935	77,880	79,350	71,964	68,214
	軽油	ℓ	97,706	98,310	98,486	104,246	59,117	72,419	86,532
	ガソリン	ℓ	17,449	18,367	17,630	16,777	20,413	20,485	20,044
	灯油	ℓ	48	33	0	0	0	0	0
	LPG(家庭用)	m <sup>3</sup>	28.8	24.3	23.0	32.3	40.1	35.8	25.9
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	339,943	342,350	334,617	344,091	260,673	281,630	300,692
水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	509	638	355	341	430	399	351
	地下水	m <sup>3</sup>	1,088	622	647	716	602	397	353
	雨水(推定値)	m <sup>3</sup>	500	500	500	500	500	500	500
一般廃棄物(自社)	紙類(再生)	t	0.20	0.20	0.12	0.20	0.18	0.26	0.19

※電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2017年度～2018年度は 0.505kg-CO<sub>2</sub>/kWh H26年度東京電力、2019年度～2020年度は東京電力エナジーパートナー(株)H29年度調整後排出係数0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWh、2021年度9月から本社 シン・エナジー-0.518kg-CO<sub>2</sub>/kWh、第二工場は2021年度9月～2023年度3月までサイサン0.528kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用、第一工場は2021年度～2022年度は東京電力エナジーパートナー(株)H29年度排出調整後0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

2023年度は本社シン・エナジー-0.158kg-CO<sub>2</sub>/kWh(H29調整後)、第一工場及び第二工場は、東京電力エナジーパートナー(株)H29年度調整後排出係数 0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

## 環境方針

ビジネス環境整備株式会社は、課題とチャンスをつまみ、地域の一員として、暮らす人々の健康を考え、安全で住み良い生活空間と従業員の働きやすい快適空間の創造をテーマとして継続的改善に挑戦していきます。

### スローガン

**「快・適・創・造」**

### 行動指針

法令の遵守      環境関連お法的規制を遵守します。

事業活動に於いて

- 1 「浄化槽維持管理」「一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬」「もったいねえ～倶楽部」の各事業活動を通し循環型社会の形成に向けて挑戦して行きます。
- 2 電気、燃料、上水道の使用量削減に努めます。
- 3 車両のグリーン調達を積極的に行います。
- 4 働く人々の健康、安全な職場づくりを推進し、環境を重視する企業文化を育成する為、教育、啓発、環境改善活動を継続して実施します。
- 5 事業所内廃棄物の削減及び事業所周辺の美化に率先して努めます。

この方針は、所内に掲示して、全従業員に周知すると共に一般に公開します。

制定日   ： 2008年4月1日

改定日   ： 2024年4月1日

ビジネス環境整備株式会社

代表取締役 新家 雅史

### 【3】環境経営目標と環境経営計画

#### ① 2023年度環境経営目標

当初2021年度基準として2022年度～2024年度の中期経営目標も策定していたが、昨年度2022年度の実績を基に2023年度目標値を再設定を行い活動を行ってきた。

項目			単位	2021年 基準値	2022年度 実績	2023年度 当初目標 値	2023年度 改定目標	目標 値 前年	
電気 使用量	本社(シン・エナジー)		使用量	kWh/年	23,360	22,471	23,360	22,471	96.19%
	第一工場(東京電力)	原単位	kWh/処理量①+③	34.61	36.89	33.90	36.54	#####	
		使用量	kWh/年	24,088	17,134	24,559	17,134	71.13%	
	第二工場(東京電力)	原単位	kWh/処理量②	11.77	13.04	11.75	12.92	#####	
使用量		kWh/年	31,902	32,358	32,491	32,380	#####		
燃料 使用量	ガソリン(営業車12台、フォーク1台)		使用量	ℓ/年	11,881	20,485	12,120	20,485	#####
	軽油(収集運搬車両)	原単位	ℓ/収集量①～⑤	4.80	5.21	4.78	5.09	#####	
		使用量	ℓ	69,478	72,419	70,569	72,419	#####	
	灯油	使用量	ℓ	0	0	0	0	0.00%	
	LPG(家庭用)	使用量	m <sup>3</sup>	40	36	40	36	90.00%	
温室効果ガス排出量			原単位	kg-CO <sub>2</sub> / (処理量+収集量)	18.30	20.26	17.52	20.71	#####
			排出量	kg-CO <sub>2</sub>	264,904	281,630	258,666	294,730	#####
水 使用量	水道水	第一工場	使用量	m <sup>3</sup> /年	360	315	360	315	87.50%
		第二工場	使用量	m <sup>3</sup> /年	70	84	70	84	#####
	地下水(第一工場)		使用量	m <sup>3</sup> /年	602	397	602	397	65.95%
自社廃棄物削減			排出量	t/年	0.17	0.26	0.17	0.30	#####
も っ た い ね え の 倶 楽 部	もったいねえ～倶楽部		累積件数	件/年	9,399	9,459	9,588	9,554	#####
	①	紙・PET・再生量	運搬量	t/年	600	584	612	590	98.33%
	②	段ボール再生量	再生量	t/年	2,711	2,482	2,765	2,507	92.48%
	③	発泡スチロール再生量	中間処理量	t/年	75	25	77	25	33.34%
収 廃 集 運 物	④一般廃棄物収集運搬量		運搬量	t/年	8,831	8,740	9,008	9,020	#####
	⑤産業廃棄物収集運搬量		運搬量	t/年	2,257	2,068	2,302	2,089	92.56%
浄化槽法定点検			件	件/年	462	377	471	381	82.47%
化学物質の適正管理			—	—	—	月次購入実績を進捗管理表で管理			
製品・サービスへの環境配慮、収集運搬時のトラブルをなくす			—	件/年	—	発生件数をゼロ件			

※電気使用量では、シンエナジー(株)は0.473kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R2年度調整後排出係数)、東京電力エナジーパートナー(株)は0.443kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R2年調整後排出係数)を使用。

② 主な環境経営計画

環境目標を達成するために以下の環境活動を実践する。

環境目標	環境活動計画の内容	主担当
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 休憩室及び作業時間中を除き、昼休みは消灯する。</li> <li>● 不要な所では、電灯を消す。</li> <li>● 設定温度を冷房28℃、暖房21℃を維持する。</li> <li>● 待機電力は、極力使用しない。(テレビ、エアコン、パソコン)</li> <li>● リサイクル工場で効率的な作業を心がける。</li> <li>● 機械、設備の電源をこまめに切る。</li> </ul>	本社 第一工場 第二工場
燃料(軽油・ガソリン・灯油)使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコドライブを実践する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無用なアイドリング、空ぶかしをやめる。</li> <li>・ 経済速度で走行する。</li> <li>・ 点検、整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正に保つ。</li> <li>・ 急発進、急加速、急ブレーキをやめ適切な車間距離をとる。</li> <li>・ マニュアル車は、早めにシフトアップする。</li> <li>・ 無駄な荷物は積まない。</li> </ul> </li> <li>● 収集運搬業務において効率的な運行計画を立てる。</li> <li>● 適切な車輛整備の実施。</li> </ul>	本社 第一工場 収集運搬 浄化槽
水使用量(総排水量)の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 蛇口のこまめに開閉し水量は適正に保つ。</li> <li>● 洗車の際の節水、洗車時間の短縮。</li> <li>● 雨水の利用。</li> </ul>	本社 第一工場
自社廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴミ箱の適正配置による分別徹底。</li> <li>● 裏面再使用により紙使用量を削減。</li> <li>● パソコン印刷ミスの防止。</li> </ul>	本社 第一工場
収集運時の事故・トラブルゼロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 収集運搬時の混合積載を極力少なくする。</li> <li>● 収集時の分別の徹底。</li> <li>● 市役所を通じての市民への分別強化の依頼。</li> </ul>	収集運搬

段ボール/新聞紙/雑誌/空き缶/ペットボトル



【4】環境目標の実績と評価

① 2023年度実績と評価

評価： ○ 達成率100%以上 △ 達成率90%以上100%未満 × 達成率90%未満

項目			単位	2023年度 改定目標	2023年度 実績	達成率	評価	
電気使用量	本社(シン・エナジー)		使用量	kWh/年	22,471	20,890	107.57%	○
	第一工場(東京電力)	原単位	kWh/処理量①+③	36.54	38.04	96.04%	△	
		使用量	kWh/年	17,134	15,749	108.79%	○	
	第二工場(東京電力)	原単位	kWh/処理量②	12.92	12.98	99.52%	△	
使用量		kWh/年	32,380	31,575	102.55%	○		
燃料使用量	ガソリン(営業車12台、フォーク1台)		使用量	ℓ/年	20,485	20,044	102.20%	○
	軽油(収集運搬車両)	原単位	ℓ/収集量①~⑤	5.09	6.41	79.42%	×	
		使用量	ℓ	72,419	86,532	83.69%	×	
	灯油	使用量	ℓ	0	0	-	-	
LPG(家庭用)	使用量	m <sup>3</sup>	36	26	139.00%	○		
	温室効果ガス排出量		原単位	kg-CO <sub>2</sub> / (処理量+収集量)	20.71	22.24	93.10%	△
		排出量	kg-CO <sub>2</sub>	294,730	300,392	98.12%	△	
水使用量	水道水	第一工場	使用量	m <sup>3</sup> /年	315	284	110.92%	○
		第二工場	使用量	m <sup>3</sup> /年	84	67	125.37%	○
	地下水(第一工場)	使用量	m <sup>3</sup> /年	397	353	112.46%	○	
自社廃棄物削減			排出量	t/年	0.30	0.19	157.89%	○
もったいないねえ倶楽部	もったいないねえ~倶楽部		累積件数	件/年	9,554	9,516	99.60%	△
	①紙・PET・再生量	運搬量	t/年	590	523	88.64%	×	
	②段ボール再生量	再生量	t/年	2,507	2,433	97.05%	△	
	③発泡スチロール再生量	中間処理量	t/年	25	26	104.36%	○	
収集運搬物	④一般廃棄物収集運搬量	運搬量	t/年	9,020	8,051	89.26%	×	
	⑤産業廃棄物収集運搬量	運搬量	t/年	2,089	2,471	118.29%	○	
浄化槽法定点検			件	件/年	381	379	99.48%	△
化学物質の適正管理			-	-	実施	実施	実施	
製品・サービスへの環境配慮、収集運搬時のトラブルをなくす			-	件/年	ゼロ	ゼロ	ゼロ	

※電気使用量では、シンエナジー(株)は0.473kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R2年度調整後排出係数)、東京電力エナジーパートナー(株)は0.443kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R2年調整後排出係数)を使用。

② 環境目標の四半期の評価

評価： ○ 良くやっている △ 実施しているが目標未達成 × 未実施

項目		取組内容	第1Q 4-6	第2Q 7-9	第3Q 10-12	第4Q 1-3	年間 評価	
電力使用量削減	昼休み消灯・不要箇所消灯・エアコン設定厳守・待機電力非使用・効率的作業・機械設備の細目な電源切断		本社	○	○	○	○	○
			第一工場	○	○	○	△	○
			第二工場	○	○	○	△	○
燃料使用量削減	ガソリン	エコドライブ・効率的運行計画・車両整備	本社	○	△	○	○	○
	軽油			△	△	△	△	△
	LPG			○	○	○	○	○
水使用量削減	水道水	水量調整・洗車の節水時短・雨水利用	本社	○	○	○	○	○
	地下水			○	○	○	△	○
自社廃棄物削減		分別徹底、紙使用量削減	本社	○	○	○	△	○
運送時の事故ゼロ		分別徹底、混合積載を減少させる		○	○	○	○	○

## 【5】エコアクション21事務局活動

2023年度も全員参加の活動を推進するために、事務局として以下の活動を実施しました。

- ① 2023年度版ポケットブックの配布 → 2023年度の活動目標、各人の重点テーマを記載いただく。
- ② エコレポートの発行 → エコレポートNo.16により2022年度活動実績を分かり易く解説。
- ③ 掲示板の活用 → 月次活動の進捗状況を
- ④ 緊急事態対応訓練の実施

2024年7月19日に本社第二工場にて、パッカー車の受入時の事故を想定して緊急事態対応訓練を実施



受入ピットへ誘導中



受入ピット誘導完了



パッカー車の後部ハッチが開く



ハッチが空いた拍子にピットとの段差に足と取られ落下



ピット内で転がる



ピットより自力で這い上がる



連絡を受けた事務員が到着して救助を行う



怪我の確認等を行う

## ⑥ その他の取組

- A: 千葉県「社員いきいき！元気な会社！宣言企業」に参加して取り組んでいます。
- B: 千葉県「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」に平成21年度に登録し取り組んでいます。
- C: 千葉県CO2 CO2スマート宣言事業所へ登録し取り組んでいます。
- D: ちばSDGsパートナー登録制度に登録し取り組んでいます。

### 各活動ロゴマーク



### 各活動活動取組状況

#### A: 「社員いきいき！元気な会社！宣言企業」取組状況

- ① 仕事と仕事以外の生活が両立できるような配慮など
  - ・ 育児中の社員の勤務形態を柔軟にする。
  - ・ 就業時間の繰り下げと突発事項発生時の積極休暇取得
  - ・ 特別休暇制度の導入(裁判員休暇、永年勤続休暇:10年で5日、20年で7日)
- ② 地域社会の子育て支援やボランティア等への参画などの取組
  - ・ 企業見学、インターンシップの受け入れなど、学校の“キャリア教育への協力
- ③ その他、誰もが働きやすい職場環境づくりに資する取組
  - ・ 育児中の女性の採用と役職者への登用(女性の活躍推進)
  - ・ 定年65歳以降の嘱託雇用での延長雇用(シニアの活躍推進)

#### B: 「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」取組状況

- ① 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組
  - ・ 障害者が作業をしても危険のない機械の選定
  - ・ 月に一度の全社員による感想文の発表会の実施
- ② 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組
  - ・ 障害者が働く工場の工場長の人選
  - ・ 半年ごとの個別面接と半期目標設定

#### C: 「千葉県CO2CO2スマート宣言事業所」取組状況

- ・ 浄化槽の維持管理、一般及び産廃の収集運搬による市民生活への貢献
- ・ EA21活動による電気、ガソリン、軽油の削減によるCO2排出量削減

#### D: 「ちばSDGsパートナー登録制度」への登録認可

- ① 環境の側面 ・ 節水活動、節電活動、エコドライブを実施し、持続可能な社会づくりを進めます。
- ② 社会の側面 ・ 身障者の就労支援と労働環境改善について情報を共有します。
- ③ 経済の側面 ・ 収集した産業廃棄物は減容化して再資源化に努めます。

## 【6】環境活動取組結果とその評価並びに今後の取組

### ① 2023年度の活動結果

#### A: 二酸化炭素排出量削減に対する活動結果

電気使用量については、本社107.57%、第一工場108.79%、第二工場102.55%とし全て削減目標に対して全社トータル105.53%と達成しましたが、原単位では、第一工場が98.05%と未達成でこれは「紙・PETの再生量」の大幅な未達成に影響されています。

燃料使用量では、ガソリン使用量102.20%及びLPG使用量が139%と目標に対して達成しているが、軽油の使用量及び現単位が83.69%、82.76%と大きく未達成であった。

こちらは、産業廃棄物収集運搬量が増加し軽油使用量が増加したことが要因であり、現単位の未達成は、「紙・PET」、「段ボール」再生量及び一般廃棄物収集運搬量の未達成が影響している。

トータルで二酸化炭素排出量は、98.03%と僅かながら未達成であった。

#### B: もったいねえ～倶楽部について

新規加入については、頭打ちの状況であり、新規獲得に苦労している。

新規加入確保については、引き続きビラ配布や町内会への宣伝活動を継続してしているが、新規加入数及び累積件数は未達成に終わった。

紙類(主に新聞、雑誌等)の世帯購入数が減少していることが要因の一端を担っており、今後の増加はあまり見込める状況ではない。ただし、通信販売の増加に伴い、段ボール関連は今後ノビシロの多いと考える。

尚、発泡スチロールについては、ほぼ横ばいではあるが、緩衝材需要もそこまで多くはないと予想されるのでこのままの数値を維持していきたい。

尚各達成率は、倶楽部累積件数は99.6%、倶楽部新規件数は60%と共に未達成。

紙・PET再生量は88.64%、段ボール再生量は97.05%と共に未達成。発泡スチロール処理量は104.36%と達成した。

#### C: 水資源使用量削減について

水道水使用量は第一工場110.92%、第二工場125.37%、地下水は112.46%と共に達成。

#### D: 自社廃棄物排出量削減について

一般廃棄物の排出に対しては、157.89%と達成。

#### E: 廃棄物収集運搬量について

一般廃棄物収集運搬量は95.54%と未達成で全体的に上記Bで説明通り、紙関係等は減少傾向である。

産業廃棄物収集運搬料は118.33%と達成と新型コロナ前の数量に回復しつつある。

#### F: 化学物質適正使用について

浄化槽清掃薬品として使用及び購入数量は、実績把握を月次で管理し把握を行いました。

#### G: 製品・サービスの環境配慮について

廃棄物収集運搬時のクレーム等はゼロ件を引き続き継続しています。

## 【7】次年度以降の取組

2024年度からは過去12年間の実績を基に基準値を設定し、新たに中期経営目標を策定し環境活動を取組ます。ただし、環境経営計画は10ページの示した内容を継続して行います。

項目		単位	基準値	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値		
電気 使用量 削減	本社	使用量	kWh	23,057	22,826	22,598	22,372	
	第一工場	使用量	kWh	23,351	23,118	22,887	22,658	
		原単位	kWh/処理 量①+③	32.63	32.31	31.98	31.66	
	第二工場	使用量	kWh	38,679	38,292	37,909	37,530	
		原単位	kWh/処理 量②	14.61	14.46	14.32	14.17	
燃料 使用量 削減	ガソリン	使用量	ℓ	23,531	23,296	23,063	22,832	
	軽油(収運)	使用量	ℓ	115,178	114,026	112,886	111,757	
		原単位	ℓ/運搬・再 生・処理量 ①~⑤	8.45	8.37	8.28	8.20	
	灯油	使用量	ℓ	0	0	0	0	
	LPG	使用量	m <sup>3</sup>	46.72	46.25	45.79	45.33	
温室効果ガス排出量		排出量	kg-CO <sub>2</sub>	390,435	386,531	382,666	378,839	
		原単位	kg-CO <sub>2</sub> / 処理量+収 集量	28.65	28.36	28.08	27.80	
水資源 使用削減	水道水	使用量	m <sup>3</sup>	597	591	585	579	
	地下水	使用量	m <sup>3</sup>	555	549	544	538	
自社廃棄物		排出量	t	0.25	0.25	0.25	0.25	
も た い ね え 倶 楽 部	もたいねえ～倶楽部	新規件数	件	57	57	57	57	
		累積件数	件	9,516	9,573	9,630	9,687	
	①紙・PET・缶再生量	運搬量	t	689	689	689	689	
	②段ボール再生量	再生量	t	2,648	2,648	2,648	2,648	
	③発泡PS再生量	中間処理量	t	26.59	26.59	26.59	26.59	
廃棄物 収集運搬	④一般廃 棄物収集 量	合計	運搬量	t	8,225	8,225	8,225	8,225
		可燃物	運搬量	t	2,465	2,465	2,465	2,465
		浄化槽汚泥	運搬量	t	5,760	5,760	5,760	5,760
	⑤産廃収集量	運搬量	t	2,040	2,040	2,040	2,040	
浄化槽法定点検		点検数	件	324	324	324	324	
化学物質の定性管理		実績把握	購入実績	実施	進捗管理表にて購入実績管理			
産業廃棄物の収集運搬及び処分 における環境配慮に関する項目			件	ゼロ	ゼロ件を維持する			

※電気使用量では、シンエナジー(株)は0.473kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R2年度調整後排出係数)、東京電力エナジーパートナー(株)は0.443kg-CO<sub>2</sub>/kWh(R2年調整後排出係数)を使用。

### ★環境経営目標値について

- ① 基準値は過去12年間(2012年度～2023年度)の実績の平均値のばらつきを標準偏差1σを加味等を行い基準値としました。ただし、電気使用量については、本社と第一工場については2019年度からの平均値となります。
- ② 各削減目標は、基準値からマイナス1%と2024年度目標値、2025年度以降は前年目標値よりマイナス1%とします。
- ③ 廃棄物収集運搬量及び浄化槽法定点検数は、基準値を継続的に遂行します。
- ④ もたいねえ～倶楽部関係は、基準値を継続する。

## 【8】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な法規制は次のとおりです。

1	浄化槽法
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
3	NOx・PM法
4	消防法
5	労働安全衛生法
6	オフロード法
7	PRTR法
8	道路交通法
9	道路運送車両法
10	貨物自動車運送事業法
11	フロン排出抑制法

2024年6月に2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)環境関連法令等の遵守状況を確認した結果関係関連法令等の違反はありませんでした。

## 【9】代表者による全体の評価と見直しの結果

2024年6月30日、社長によるエコアクション21の2023年度活動の評価と見直しを実施しました。

2023年度は新たに2022年度の実績を基に環境経営目標を策定し活動を行ってきました。

二酸化炭素排出量削減に係る電気使用量、ガソリン使用量及びLPG使用量は目標値を達成したが、軽油使用量が未達成に終わり、二酸化炭素排出量は僅かながら未達成に終わった。

もったいねえ～倶楽部の新規加入数は、昨年以下となりました。

紙のリサイクルは、紙離れが叫ばれる現状、その再生量も大幅に未達成に終わっているが、段ボールの再生は僅かに未達成に終わったが、段ボール自体リサイクル材料から作られているから関係上、今後も持続可能で環境に優しい包装形態と考えられていることから、リサイクル材料から段ボール箱を製造することは、メーカーが環境への影響を軽減し、環境に対する持続可能性を提供することにより、環境保護のための政府による業界基準や規制を遵守するのに役立つことから、さらに、政府は包装業者に対し、包装にリサイクル可能な材料を利用するよう奨励しており、環境への懸念が高まっており、市場に大きなチャンスを生み出と考えより段ボールのリサイクル継続していく。

水資源使用量削減は、節水活動により達成しました。

化学物質の管理、環境配慮も問題につきとも問題も発生せず終了しました。

2023年度が終了したことを受け、新たな環境経営目標を2023年度実績値からの基準目標値の設定ではなく、過去12年間の実績を基に新たな中期経営目標を策定し取組ます。

- 1、環境方針の変更 → 環境方針から「グリーン購入」を削除します。
- 2、環境経営システムの変更 → 組織体系を含み変更なし。
- 3、環境経営目標の変更 → 過去12年間(2012年度～2023年度)の実績を基に新たな中期経営目標を2024年度～2026年度を作成して取り組む。